ご紹介:木原さんと、大阪ボランティア協会の早瀬昇さんは、社説でボランティアのことを書くときのかけがえない"家庭教師"でした。『銭形平次はボランティアだった』という冊子に感動したのが木原さんとの馴れ初めです。木原さんによると坂本龍馬も名ボランティアコーディネーターなのですって。



僕がはじめて本業型ボランティアに気がついたのは、親父が「銭形平次」のテレビを見てたときなんですよ。大川八蔵っていう水も滴る人が平次やってたの。大した筋じゃないんだよね(笑)。コマーシャル抜けば45分ぐらいでね、15分ぐらいすると犯人らしきやつが出てくんのよね。いかにもあっちこっちで犯人役やってるやつがね(笑)。30分ぐらいすると、やっぱりあいつとわかって、島流しすんでしょ。あと15分あるでしょ。いいですか。ここだよ、みなさん。次、何すると思う?犯人の妻子が困ってんですよ。それを助けちゃったりするわけだ。平次がね。ボランティアするわけだよ。ね。それを奉行所の役人が彼の上司でしょ。すぐ言うんだよ、愚痴るんだよ。「平次、お前、いつも、よけいなことをすんな。お前は悪いやつを俺のところに連れてこればそれでいいんだ」なるほど。刑事としてはやる義務ないもんね。そうでしょ。でも、やっちゃってる。これが本業ボランティア。

全国ボランティア活動振興センターに「今ボランティア何人いますか?」って聞いたら、「750万人います」って答えが返ってきちゃう。残る93パーセントの人は何してんのか。その時ね、今のボランティアの定義と要件が少し厳しすぎるって気づいた。定年退職者のボランティア講座なんて行くでしょ。「元気なうちにやっときたい」、もうその中に定義が入ってる。そういうふうにしてね、いつのまにか「元気な人が手足を使ってね、他人に向かって何かをすること」がボランティアだ、とみんな思いこんじゃう。

「余暇で」。これでほとんど男の人は落ちちゃうね。「俺は働いてます。ボランティアセンターに行けないもんね」。うん。もうそれでおしまいです。ところがね、住民ってのはこの本業の中でやってるんだよね。それをボランティアといわないのね。

京都の東寺の駅前のケーキ屋 さんで 1 万円払っておつりを待ってたの。そしたらレジの脇に ならなくてある。「お買い店 ならなくてもご遠慮なう画を はならなください」。普通なんはで 書く?「お買いにならない方は ま慮ください」。そこで、したら までもでください」。そこで、したら まの地図をコピーして あるのね。

★ボランティア人口わずか7%のナゾ★

- (1)「ボランティアの時代」と言うけれど…
- (2) 今、ボランティア人口は750万人だと
 - ◆ 一見、多いようだが、全人口のわずかに7%。これで「世直し」はできない。
- (3) 残りの93%は、活動していないのか?
 - ◆ 「7%」は、関係者の決めた「定義」や「ボランティアの要件」に合致した分。
 - ◆ その「定義」「要件」が少し、厳しすぎるので は?
- (4) その「厳しい要件」を一つ一つ点検してみたら…

レジメ『一人一人の世直しくもう一つのボランティア論 >』より。



駅前店ってのは道を聞かれるわけだ。

もうひとつあった。「荷物預かります」って紙に書いてあるんだよね。これ。本業中にやってるじゃないですか。みんな困ってくるわけじゃないね。だよね。断っても非難はされないね。 こういうのボランティアじゃない?ダメかね。どうですかね。

公務員だってそう。みなさん、市役所に勤めてもね、勤めながらボランティアできるんだ ね。いいですか、ものは考えようだよ、ね。

筋肉がだめになっちゃった奥さんが、癌の末期になっちゃって、うちに帰りたいって言い出したの。車とか、車椅子とか輸送車とか、ベッドとか必要なんですよね。ところが障害者手帳持ってないんだよ。突然なっちゃったからね。でも、窓口の彼、全部ね。やってあげちゃったの。鈴木さんっていうんだけど。「鈴木さん、どうしてこの法律に反することあんたやれたの」ってこう聞いたんですね。そしてらね、「できるかどうかは、俺たちの胸三寸なんだよ」って言うんですよね。「そういうときはね、必ず規定には最後にね、その他、市長が認める者って書いてある。それ使ってる。」

この鈴木さんが、役所では規則どおりにやって、日曜日に老人ホームにボランティアに行くとするよ。どっちがいいかね、ううん、やっぱり粋なはからいをしてくれたほうがいいよね。

★「いわゆるボランティア」の要件を再点検 ★

- (1)「余暇で」取り組むもの? →本業中ではダメか?
- (2) 見返りを求めぬ無償の行為 →儲けようと思ってはダメ か?
- (3)「よい動機」で →不純な動機ではダメか?
- (4)「自発的に」 →人に強制されてじゃダメか?
- (5) 他人のために →「自分のため」はダメか?
- (6) アカの他人に →身内相手じゃダメか?
- (7)元気な人が弱った人に →「要介護」じゃダメか?
- (8) 手足を動かして → 「心」の活動はダメか?
- (9) 特技を生かして →これといった特技がないとダメか?
- (10) 意識的な行為 →無意識の行為ではダメか?
- (11) 最前線で →後方支援じゃダメか?
- (12) やりたい時にやりたいことを →「やりたくないこと」 じゃダメか?
- (13) あらためてどこかへ出かけて →足元でやってはダメ か?

レジメ『一人一人の世直しくもう一つのボランティア論>』より。

